



# 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 チタン工業株式会社  
 コード番号 4098 URL <http://www.titankogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 松川 正典  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 重永 俊雄

TEL 0836-31-4155

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,889	7.1	△96	—	△170	—	△186	—
25年3月期第2四半期	2,697	△20.8	62	△84.5	23	△93.9	733	97.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△6.19	—
25年3月期第2四半期	24.36	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	11,140	5,101	45.8
25年3月期	11,377	5,358	47.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 5,101百万円 25年3月期 5,358百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	13.1	△90	—	△170	—	△180	—	△5.98

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	30,276,266 株	25年3月期	30,276,266 株
26年3月期2Q	168,403 株	25年3月期	166,613 株
26年3月期2Q	30,109,056 株	25年3月期2Q	30,112,812 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
3. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府による積極的な経済対策や日本銀行の金融緩和策を受けて、景気回復の兆しの一部が見られましたものの、欧州の債務危機問題や新興国経済の成長鈍化など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢のもとで、当社は、3カ年の新中期事業計画に基づき、基盤事業の再強化、コア事業の規模拡大及び新規事業の育成を通じて、持続的な成長に向けた収益基盤の確立に取り組んでまいりました。

その結果、超微粒子酸化チタン及び酸化鉄の新製品の採用決定などの成果により、当第2四半期累計期間の売上高は、前年同期を上回る2,889百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

一方、損益面につきましては、製品在庫の圧縮を目的とした設備稼働率の抑制による売上原価の上昇及び原燃料価格の値上がりなどにより、営業損失は96百万円（前年同期は営業利益62百万円）、経常損失は170百万円（前年同期は経常利益23百万円）となりました。また、特別損失として固定資産除却損を計上いたしましたので、四半期純損失は186百万円（前年同期は四半期純利益733百万円）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

## （酸化チタン）

酸化チタンにつきましては、一部ユーザーでの在庫調整が一段落いたしましたものの、本格的な需要回復には至らず、出荷数量が減少いたしました。高付加価値品の超微粒子酸化チタンにつきましては、UVカット化粧品向け及びトナー外添剤向け新製品の採用が決定し、出荷数量が増加いたしました。新規事業のチタン酸リチウムにつきましては、当初の予想は下回るものの、対前年同期比で出荷数量が増加いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,844百万円（前年同期比10.8%増）となりましたが、チタン酸リチウムの増産投資に伴う減価償却費などの固定費負担の先行及び原燃料価格の値上がりなどにより、営業損失は69百万円（前年同期は営業利益37百万円）となりました。

## （酸化鉄）

酸化鉄につきましては、鋭意、拡販に注力いたしました結果、化粧品向け新製品の採用決定及びトナー向け新製品の出荷回復により、出荷数量が増加いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,023百万円（前年同期比1.4%増）となりましたが、設備稼働率の抑制及び原燃料価格の値上がりなどにより、営業損失は37百万円（前年同期は営業利益14百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債、純資産の状況

資産につきましては、現金及び預金、受取手形及び売掛金、投資有価証券などの増加があったものの、商品及び製品、機械及び装置などの減少から、当第2四半期会計期間末11,140百万円と前事業年度末と比べて236百万円減少いたしました。

負債につきましては、1年内返済予定の長期借入金、未払法人税等などの減少があったものの、短期借入金などの増加から、当第2四半期会計期間末6,038百万円と前事業年度末に比べて19百万円増加いたしました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の増加があったものの、四半期純損失の計上、配当金の支払いによる利益剰余金の減少などから、当第2四半期会計期間末5,101百万円と前事業年度末に比べて256百万円減少いたしました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間におきましては、売上債権の増加、法人税等の支払い、長期借入金の返済による支出、配当金の支払い、税引前四半期純損失などの資金減がありましたものの、減価償却費、補助金収入、短期借入れによる収入、長期借入れによる収入などの資金増によりまして、前事業年度末に比べて74百万円増加（前年同四半期累計期間は72百万円増加）しており、資金の残高は740百万円となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期の実績及び今後の見通しを勘案し、予想数値を修正しております。詳細は本日（平成25年11月14日）公表の「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期業績の見通しにつきましては、売上高5,800百万円、営業損失90百万円、経常損失170百万円、当期純損失180百万円を見込んでおります。また、期末配当は1株当たり2円に修正いたします。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位: 百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	667	741
受取手形及び売掛金	1,229	1,344
商品及び製品	1,300	1,057
仕掛品	484	498
原材料及び貯蔵品	463	522
その他	248	52
流動資産合計	4,394	4,217
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,518	1,499
機械及び装置(純額)	3,803	3,642
その他(純額)	591	635
有形固定資産合計	5,913	5,778
無形固定資産	2	6
投資その他の資産		
投資有価証券	626	700
その他	453	449
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	1,068	1,138
固定資産合計	6,983	6,923
資産合計	11,377	11,140
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	522	499
短期借入金	900	1,000
1年内返済予定の長期借入金	588	476
未払法人税等	66	8
賞与引当金	73	78
その他	388	488
流動負債合計	2,538	2,551
固定負債		
長期借入金	2,233	2,239
退職給付引当金	867	838
資産除去債務	3	3
その他	376	406
固定負債合計	3,480	3,487
負債合計	6,019	6,038

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,443	3,443
資本剰余金	292	292
利益剰余金	1,446	1,139
自己株式	△32	△32
株主資本合計	5,150	4,843
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	208	258
評価・換算差額等合計	208	258
純資産合計	5,358	5,101
負債純資産合計	11,377	11,140

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,697	2,889
売上原価	2,230	2,574
売上総利益	467	315
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	51	56
賞与引当金繰入額	9	10
退職給付引当金繰入額	4	4
研究開発費	101	95
その他	238	245
販売費及び一般管理費合計	404	412
営業利益又は営業損失(△)	62	△96
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5	6
受取補償金	—	8
その他	8	11
営業外収益合計	14	26
営業外費用		
支払利息	36	30
減価償却費	—	57
その他	17	12
営業外費用合計	53	100
経常利益又は経常損失(△)	23	△170
特別利益		
補助金収入	961	—
特別利益合計	961	—
特別損失		
固定資産除却損	8	13
投資有価証券評価損	20	—
たな卸資産評価損	155	—
特別損失合計	184	13
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	800	△183
法人税、住民税及び事業税	67	2
法人税等合計	67	2
四半期純利益又は四半期純損失(△)	733	△186

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	800	△183
減価償却費	267	303
賞与引当金の増減額(△は減少)	0	5
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10	△28
受取利息及び受取配当金	△6	△6
支払利息	36	30
その他の営業外損益(△は益)	2	0
有形固定資産除却損	8	13
その他の特別損益(△は益)	△941	—
売上債権の増減額(△は増加)	△37	△114
たな卸資産の増減額(△は増加)	71	169
仕入債務の増減額(△は減少)	△148	△8
未払消費税等の増減額(△は減少)	117	△68
小計	180	112
利息及び配当金の受取額	6	6
利息の支払額	△20	△45
法人税等の支払額	△5	△57
その他	△9	10
営業活動によるキャッシュ・フロー	152	27
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1	△1
定期預金の払戻による収入	1	1
有形固定資産の取得による支出	△574	△21
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	—	2
補助金収入	961	193
その他の支出	△0	△0
その他の収入	—	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	386	173
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	100
短期借入金の返済による支出	△200	—
長期借入れによる収入	—	300
長期借入金の返済による支出	△175	△405
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△90	△120
その他の支出	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△466	△126
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	72	74
現金及び現金同等物の期首残高	887	665
現金及び現金同等物の四半期末残高	960	740



## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## ① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期損益計 算書計上額 (注2)
	酸化チタン	酸化鉄	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,665	1,009	2,674	23	2,697	—	2,697
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,665	1,009	2,674	23	2,697	—	2,697
セグメント利益 (営業利益)	37	14	52	9	62	—	62

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、副産物等の販売を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## ② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## ① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期損益計 算書計上額 (注2)
	酸化チタン	酸化鉄	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,844	1,023	2,868	21	2,889	—	2,889
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,844	1,023	2,868	21	2,889	—	2,889
セグメント利益又は損失(△) (営業損失(△))	△69	△37	△106	9	△96	—	△96

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、副産物等の販売を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

## ② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

以上